

3月議会 本会議報告

3月24日に行われた本会議では、委員会で審議された議案など9件の賛否が取られ、日本共産党市会議員団の岸田あつこ議員は5件に反対しました。各会派の採決の結果と、党議員団の反対した理由をお伝えします。



四條畷市議会議員
岸田あつこ

【①一般会計予算Ⅱ反対】

本予算案について、がん検診の受診率向上のための努力等々、評価できる点がある一方、施策の進め方や市民の声を聞く姿勢で以下の認められない点がある。

①粗大ごみ有料化を前提とした費用の計上。
②住民合意なしの学校統廃合計画の費用の計上。
③ムダな忍ヶ丘駅西口のロタリーの改修工事費用の計上。

他にも、マイナンバーにかかる費用や北河内4市リサイクル周辺住民の健康被害が解消されていない問題も指摘して、反対する。

【②一般会計補正予算Ⅱ反対】

この補正予算は、西中と畷中にするクラブ倉庫の面積を150㎡から300㎡に変更するものと、西中のプールを改修から改築に変更する内容で、一般会計予算の債務負担行為に2億円増額するもの。*

この内容自体に反対ではないが、この増額の大半の事業は学校統廃合計画であり、学校統廃合は住民合意が得られてなく、このまま推し進めるべきではない。

(※)2億円の増額により、中学校関連の南中撤去や西中・畷中改修費用には合計27億円(税抜き)の工事費が計上されている(2016、18年度)。その上に、小学校関連の費用は約44億円(税抜き)が予定されており、2020年度までに合計で約71億円(消費税を加え

ると76、78億円の見込み)の税金が注ぎ込まれようとしています。

【③国保会計予算Ⅱ反対】

反対理由は、大きく次の2点がある。

①この議会で国保料の限度額が引き上げられたが、限度額を上げて、全所得階層で前年度より保険料が上がる。

3人世帯のモデルケースでみると、限度額に到達する所得500万円の世帯で、40歳以上の被保険者が2人いれば、国保・介護にかかる保険料は所得の17.7%、所得180万円の世帯では保険料が所得の22.2%にもなり、保険料の負担が重すぎる。

②高すぎる国保料を払えない世帯には、差押えや保険証取り上げのペナルティーが課せられている。全国ではペナルティーを実施していない自治体もあり、命を守る自治体としての姿勢を示すよう求める。

本制度には国保料が大変高いという構造的

な問題があり、国の補助金を大幅に削減してきた根本問題の解決が求められる。

【④水道予算Ⅱ反対】

本予算は、四條畷市の水道事業として最後の予算であり、2017年度から大

【つら面へつづく】

24日本会議 各会派の議案への態度

○=賛成、×=反対、△=保留

	共産 岸田	ビジョン 長畑・藤本 島	政新 大矢・吉田 渡辺・大川	公明 曾田・瓜生 小原	自民 森本
①2016年度一般会計予算	×	○	○	○	×
②2016年度一般会計補正予算(第1号)	×	○	○	○	△
③2016年度国民健康保険特別会計予算	×	○	○	○	○
④2016年度水道事業会計予算	×	○	○	○	○
⑤2016年度下水道事業会計予算	○	○	○	○	○
⑥四條畷市議会基本条例の一部改正	×	○	○	○	○
⑦産業振興ビジョン策定に係る特別委員会設置	○	○	○	○	○



パレードする参加者=9日、大阪市

新しい政府に向けて女性が集会 4・9女性が翔ける 「政治を動かすチャンス！」 と、わたなべ結【党府青年学生 委員会責任者】



「ただきたい」ときっぱり、市民の中に「反安倍」の声を浸透させれば、必ず退陣に追い込めると語りました。

社民党の福島瑞穂参議院議員のメッセージ、同志社大学の浜矩子さん、岡野八代さん両大学院教授のビデオレターが紹介されました。

つづいて青年グループや安保関連法に反対するママの会、若い弁護士や女性団体の代表、絵本作家の方々がリレートーク。「選挙に行つて政治を変えよう」と呼びかけました。

わたなべ結、 「女性の声が届く政治へ」

日本共産党のわたなべ結党大阪府青年学生委員会責任者は、手作りの紙の「結ワゴン」に乗って登場。8日に発表した「大阪女性提言」を紹介しながら、「女性の声が大きく上がる時、政治を動かすチャンスがある」と話しました。そして、政治を変えたいと思つたら自らの経

「おもて面から」

阪広域水道企業団へ統合するための準備がふくまれている。

企業団への統合については、以下の懸念がある。

①企業団との統合により、将来的な更なる人員削減が示唆されたことは、危機管理の後退であり、不安が残る。

②40年という長いスパンの財政シミュレーションの信ぴょう性が疑わしい。

③広域化により水道事業が議会や市民に見えにくくなり、声が届き難くなる。などが考えられ、統合準備への予算であることから反対する。

【⑤議会基本 条例Ⅱ反対】

今回の改訂により、議会に災害対策連絡会議

験を語りながら、夏の参議院選挙で、女性を苦しめる政治から女性の声が届く新しい政治へと転換しようと訴えました。

日本共産党のたつみコータロー参議院議員が駆けつけ、国会報告をしました。

盛りだくさんの企画と若くてステキなわたなべ結さん・たつみコータローさんにやさしく背中を押され、一歩が踏み出せました。

絵本作家のおおきひろえさんが提供して下さった「平和がすき選挙に行こう」のかわいいシールをいただいで

の設置を義務づける条項を加えることは評価する。しかし、認められない後退面がある。

①現在、議会運営委員会は全会議が公開されているが、改訂すると公開の幅を狭める内容になる。日本共産党は会派代表者会議もふくめ、議会の会議は全て公開すべきと求めてきており、情報公開の後退となる内容は認められない。

②議会報告会を「年2回実施」から、「必要に応じて開催」に後退させる内容も問題。議会報告会の改善の努力を図らずに開催枠を狭めるのは、議会の役割を十分に果たしているとは言えない。など、現在の議会基本条例より後退すると考え、反対する。

きました。

集会後、参加者は「戦争あかん 選挙に行こう」の横断幕やプラカードを持って扇町公園までパレードしました。

市民相談

(法律相談ふくむ)

5月10日(火)夜7時

市民総合センター

相談ご希望の方は事前に岸田議員まで連絡して下さい。